



川西町フレンドリープラザ

劇場・川西町立図書館・遅筆堂文庫

2021年
初春 No.71

PLA's



<https://www.kawanishi-fplaza.com>



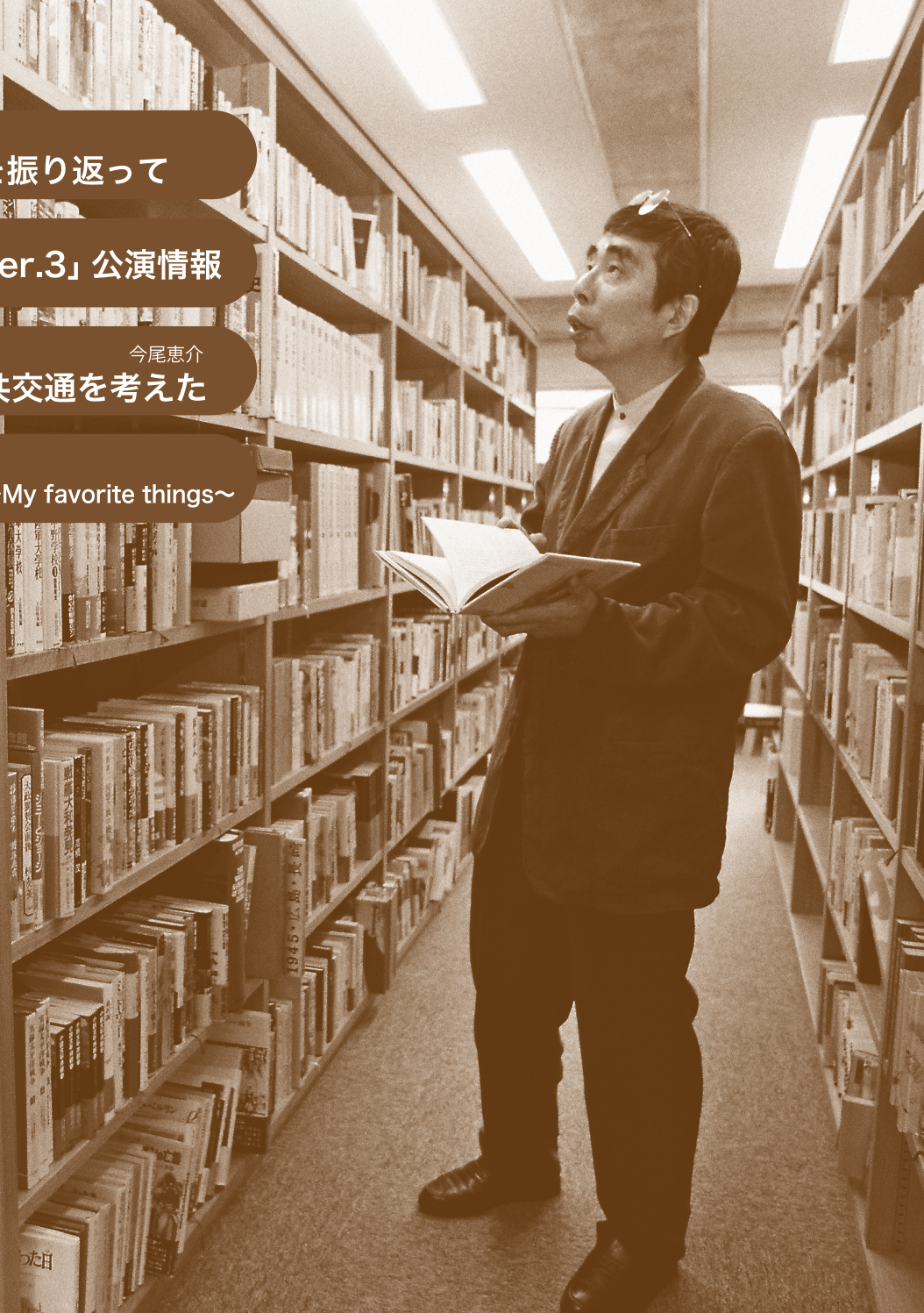
特集

井上ひさし
没後10年を振り返って

二兎社「ザ・空気 ver.3」公演情報

Waku Waku エッセイ 今尾恵介
痛風になって公共交通を考えた

《コラム》
私のお気に入り ~My favorite things~



井上ひさし没後10年を迎えた2020年、新聞や雑誌では井上ひさし特集が組まれたり、これまで未収録だったエッセイが編集出版されたり、また各地の文学館では企画展・特別展が開催され、山形県内の各図書館では井上ひさし著作本の一斉展が開かれました。世界中が新型コロナウィルス感染症に揺れた年でしたが、「井上ひさし没後10年」の文字を目にすることが多い年でもありました。



©佐々木隆二

遅筆堂文庫 企画展

○I期

「旅はここから始まった」

— 創作元年 —

初期の創作ノートとともに、井上ひさしが中学時代に書いた詩と高校の生徒会誌に発表した詩論「ヴィクトール・ユーゴの詩に就いて」も紹介しました。中学3年のときの詩「秋の色」は、

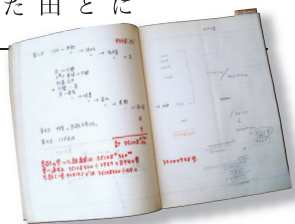
「秋の色」は、
当時から大好きだったオノマトペの達人宮沢賢治の詩を彷彿とさせます。



○II期

「ふるさととは本の海」

井上蔵書の特徴はジャンルごとに研究書からコミックまで数百冊とまっていることです。その中から神田の古書店街からその類の本が消えたといわれる「狐と狸資料」、「忠臣蔵資料」、「地図資料」(『四千万歩の男』資料)を中心に紹介しました。また江戸の測量学者伊能忠敬が歩いた歩数の計算を四千万歩と導き出す過程が判るノートは見応えがあり、新聞各紙でも紹介されました。



「四千万歩の男」創作ノート

○III期

「本の海は果てしなく 広くて深い」

井上ひさしの提唱で1988(昭和63)年から川西町で始まった「生活者大学校」は、あるじ(井上校長)不在となった今でも開催されている講座です。その講座で何度かテーマになった農業や憲法、環境問題に焦点をあて、井上ひさしが読み込んだ本や雑誌を展示しています。何度も丁寧に読まれた跡のある資料は、マーカーや赤鉛筆がいたるところに引かれています。

作品創作だけに留まらず、多くの社会的な問題にも取り組んだ井上ひさし。その幅広い活動に改めて思いを馳せる一年でもありました

「井上組」学芸員に聞いてみた! (裏面につづく)

◎1年間にわたり、6館を巡るスタンプラリー

Table with 2 columns: 会場 (Venue) and 企画展・特別展内容 (Exhibition/Event Content). Rows include 遅筆堂文庫, 吉野作造記念館, 仙台文学館, 鎌倉文学館, 市川市文学ミュージアム, 世田谷文学館.

毎年春に日本近代文学館(東京都目黒区)で全国文学館協議会の総会が開かれます(2020年は中止)。全国の加盟館約100館から60名以上の学芸員たちが集まります。会議の前に名刺交換をしたり、顔見知りの人たちは互いの企画展の話などで盛り上がります。仙台文学館、吉野作造記念館、市川市文学ミュージアム、世田谷文学館、鎌倉文学館、遅筆堂文庫と井上ひさしが居住していた場所にある文学館の皆さんが立ち話をしていると「おっ、井上組のみなさんですね」という声。照れながらも少し誇らしげな気分?...。今回、没後10年の企画展を担当した各館の学芸員の皆さんにミニインタビューをしました。



東京都

世田谷文学館

学芸部長 瀬川ゆきさん

A1. 「いいお客さまだねえ。ひさしぶりに煙草がおいしいよ」の心境です。

A2. 「絶望から希望へ橋渡しをする人」(『組曲虐殺』)そのものだと思います。しょせんこの世は〈涙の谷〉。しかし井上作品を読むと笑いを忘れず前を向いて生きていこうという気持ちになります。文学の効用というのはけっきょくそこに行き着くのではないのでしょうか。

A3. ◎戯曲『頭痛肩こり樋口一葉』◎小説『一週間』

A4. 筒井康隆

A5. 「あしたのために あしたのジョー!展」(2021年1月16日~3月31日)を準備中です。魂を燃やし尽くすほどの情熱とは何かを考えていただく機会になれば嬉しいです。



千葉県

市川市文学ミュージアム

井上ひさし展担当学芸員 山本夏子さん

A1. 突き動かされるように懸命に駆け抜けました。感謝に尽きます。

A2. いろいろあると思いますが、泣きも笑いもある井上作品の魅力は登場人物がいきいきと描かれており、その人物像が目に見えやすいこと。また、市川の街を歩けば先生が描いた1コマ1コマが作品とともに想起されます。

A3. ◎戯曲『天保十二年のシェイクスピア』◎小説『東京セブンローズ』

A4. 松本清張

A5. 市川ゆかりの作家を中心に顕彰し紹介していくとともに、イベントやワークショップ、他の文学館と連携したコラボ企画等によって多くの方が文学を楽しめる企画展を目指していきます。来年度もお楽しみに!



宮城県

吉野作造記念館

主任研究員 小嶋翔さん

A1. コロナ禍の中でも来て下さる方があり、ありがたかったです。

A2. 根底に膨大な教養の蓄積があって、それが作品の厚重さ、視点の鋭さ、言葉の深みを作っていると感じます。本当の意味での「文学」を知ることができるのではないのでしょうか。

A3. ◎戯曲『兄おとうと』◎小説『吉里吉里人』

A4. 遠藤周作

A5. 宮城県大崎市は大正デモクラシー運動の旗手・吉野作造の生誕地です。良い温泉と美味しいお酒もあります。安心できるようになったらぜひ足をお運びください。



宮城県

仙台文学館

副館長 赤間亜生さん

A1. <井上ひさしの劇列車>を終点まで走らせることができ、ほっとしています。

A2. ひとたび読み始めると、止まらなくなります。設定や構成は緻密で趣向が凝らされており、扱うテーマも硬軟幅広く多彩で、分量も多い。それなのに(それゆえに)「やめられないとまらない」。子どもの頃に感じた「本を読むのが楽しい」という気持ちが、いつもよみがえります。

A3. ◎戯曲『紙屋町さくらホテル』◎小説『下駄の上の卵』

A4. 樋口一葉、津島佑子

A5. 宮城ゆかりの文学者を紹介している常設展示では、井上ひさしのほかにも、様々な作家を紹介しています。館内のカフェと、館の外にひろがる緑豊かな敷地もあわせて楽しんでください。



二兎社

2021年3月7日
 時間 14:00 (開演 13:00)
 料金 一般5,000円、PLA会員4,500円
 (税込5,000円、PLA会員4,500円)
 【会場・主催】川崎市フレンドリープラザ

▲『ザ・空気ver.3』チラシ

「ザ・空気 ver.3 そして彼は去った…」

恐怖と笑いの中に描き出す

“メディアをめぐる空気”

シリーズ完結編

川西町フレンドリープラザでは、二兎社『ザ・空気』(2017年)、『ザ・空気 ver.2 誰も書いてはならぬ』(2018年)の公演を行いました。2021年3月7日に待望の『ザ・空気 ver.3 そして彼は去った…』を公演予定です。

あるニュース番組の内容が次々に変更させられる異様な状況を描いた『ザ・空気』。報道の自主規制というタイムリーかつ深刻な問題を正面から取り上げ、テレビ局の報道現場を通して、現代の日本を覆う奇妙な「空気」の正体に迫りました。そのリアリティのある舞台は恐怖すら感じられ、喜劇仕立てでありながら社会に真摯な警鐘を鳴らしました。

永井愛氏のアフタートークもお楽しみに!

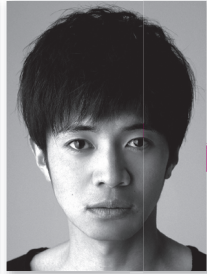
『ザ・空気 ver.3』も前2作同様、混迷を深める社会状況や現実の政治をシンクロナイゼーションさせ、今の日本の「空気」をリアルに体感できる舞台を創ります。「報道現場における自粛・忖度・自己規制」というテーマは引き継ぎつつ、前2作では描き切れなかったジャーナリストの「取材する権利」、国民の「知る権利」に光を当てます。シリーズ集大成となる今作では、権力によるメディア支配の総仕上げとして、報道の自己規制が機械的に再生産されていく様子を恐怖と笑いの中に描きます。

二兎社主宰で、作・演出の永井愛さんは、「メディア界で起きることは、会社やバイト先、家庭でも起きます。ある種の力が支配していて、空気でみんなが動く。ただ、メディアが力をなくしたら、私たちが被る被害は甚大です。」(沢美也子「メディアの自己規制が再生産される危機感」すばる)2021年1月号より)とメディアに対する危機感を語っています。日本のメディアをめぐる「空気」を鋭い視点で描く3部作の完結編をぜひお見逃しなく。

【出演者】



佐藤B作



和田正人



韓英恵



金子大地



神野三鈴

第2作の『ザ・空気 ver.2 誰も書いてはならぬ』では、日本独自の記者クラブ制度に着目し、メディアと政権の癒着に迫りました。国会記者会館を舞台にしたトラブルを「コミカルに描いて、政權とマスコミの間の微妙な距離感を考えさせる風刺喜劇でした。地元で初めてお芝居を演じた米沢市出身の眞島秀和さんも好演しました。公演前のインタビューでは、「なにか照れくさい感じ」と語っていましたが、終幕後のカーテンコールでは拍手が鳴り止みませんでした。



山形県

遅筆堂文庫

副館長 遠藤敦子

A1. コロナ禍で延期になっていた吉里吉里忌も開催でき、多くの方々にご覧いただきました。有難うございました。

A2. 笑いの中に真実があり、真実の中に力がある。漠然とした不安を抱えていた青春時代の真ただ中で出会った作家。'将来を悩んでいても仕方がない、元氣を出せ'と私をあと押ししてくれた作家でもありました。

A3. ◎戯曲『きらめく星座』◎小説『下駄の上の卵』

A4. 原田マハ(今)、五木寛之(昔)

A5. 小さな展示室ですが、何か一つピリッと印象に残るような展示を目指しています。

神奈川県

鎌倉文学館

副館長 小田島一弘さん

A1. 新型コロナで会期が変更になりましたが、多くの熱心な方に足を運んでいただき感謝しかありません。

A2. 膨大な情報をそれと感じさせずに読ませてしまうこと。何度読んでも、「あー面白かった」という気持ちになること。

A3. ◎戯曲『組曲虐殺』◎小説『百年戦争』

A4. 堀江敏幸、黒川創

A5. 築84年、旧華族の別荘だった西洋館。海を望む広大な庭園とその一角で春と秋に咲くバラ。文学だけでなく様々な楽しみ方ができる館です。

1年間にわたり、6つの文学館を巡るスタンプラリーにご参加ありがとうございました。送っていただきましたスタンプラリー帳に多くのメッセージが添えられていました。ごく一部ですが紹介します。

各館(6館)趣向を凝らされ、膨大な作品群を見ることができました。読みやすい文字で丹念に書かれた原稿はさながら芸術作品のように見えました。 千葉県/女性

とてもすてきな企画に参加させていただきました。ありがとうございました。 埼玉県/女性

素敵な企画をありがとうございました。親子で楽しみながら全館まわることができました。そしてますます井上ひさしさんが好きになりました。原稿用紙楽しみです。 東京都/女性

今回のスタンプラリーのきっかけは子どもの教科書にのっていた「握手」がきっかけ。あまり読まずにいた私を引き合わせてくれました。 神奈川県/女性

6館堪能しました。素晴らしかったです。没後20年が楽しみ。 神奈川県/女性

遅筆堂文庫へ中村哲追悼展を見に1月伺い、スタンプラリーを知りました。11月に世田谷文学館を訪ね1年の旅を終えました。井上ひさしを「同行2人」の師として歩んでいけば間違いないなという思いを強くしました。 茨城県/男性

高校3年生のときに「吉里吉里人」を読みました。井上先生の原稿用紙をいただけるのは夢のようなです。 東京都/女性

やっと3館でした、他の展示会も行きたかったです。来年以降もこうした催しがありますように。 東京都/女性

井上ひさしの作品は一生読み続け、観続けていきたい! すばらしい展示をありがとうございました。 千葉県/男性

コロナ禍が続いておりますが、井上先生の希望の言葉を探す旅を無事終えることが出来ました。充実した1年でした。 東京都/女性

1年間にわたり、6館を巡るスタンプラリーを実施しました。3館以上回った方には井上ひさし専用の原稿用紙を、さらに全館制覇した方には特注手書き和紙の原稿用紙をもちろんプレゼント。多くの方からご応募いただいています。賞品は2月に発送予定です。(全館制覇者は35名です。2020年12月24日現在)

没後10年の昨年、6館もの文学館が井上ひさしを検証してくださいました。それぞれが別の角度から業績を取り上げたことで井上ひさしの全体像がより鮮明に見えてきました。コロナ禍で、細心の注意をはらって開催にこぎつけられた各館のみならず深く感謝申し上げます。県を跨いでの旅行を控えられた方も多いことでしょう。行かなかった館に問い合わせしてみてください。充実した図録が作られています。(井上ユリ)

井上ユリ: 井上ひさし夫人



痛風になって 公共交通を考えた

今尾 恵介

初めての痛風の苦痛は想像を超えるものだった。15年ほど前の話だが、高知県の鉄道の取材を終えてホテルに落ち着き、そろそろ寝るかという時にそれが悪魔のように活動を開始したのである。「七転八倒」したくても動けば痛いので、ひたすら耐えるしかない。翌朝の高知駅の跨線橋を脂汗かきつ上ったときに実感したのがバリアフリーの大切さであった。思えば階段を乗に上り下りできない人は多い。最近になって車椅子の人を街中で見かける機会が増えたのは、法整備でバリアフリー度が高まったためもあるが、彼らが以前は出かけられなかったことに思いが至らなかつた鈍感さを恥じた。

大都市圏はともかく、ローカル線の駅で列車に乗るハードルはまだ高い。昨年9月に講演で川西町にお招きいただいたときには、フレンドリープラザの遅筆堂文庫など充実した施設と、スタッフのみなさんの温かいおもてなしに感激したが、羽前小松駅の跨線橋の階段は痛風持ちにはキツそうだなと感じたものである。

日本には全国津々浦々に1万近くの駅があるが、中には利用者が1日数十人レベルの駅は珍しくない。エレベーターなど別世界の話だ。

そこでふと考えたのが構内踏切である。かつてはホームのまん中から対岸のホームを結ぶ踏切があつて楽だった。もちろん安全面を考えるとそれは復活は難しいだろうが、たとえば列車のドアに横付けする「棧橋」のようなものがボタンと出てくる仕組みができないだろうか。これがひとつあるだけで、車椅子や痛風の人でなくても大いに便利になる。

以上は素人の浅知恵であるが、ローカル線に東京都心レベルのバリアフリー設備は必要ない。予算の都合で全自動といかないなら、他の乗客が助けよう。足が不自由なのが「明日のわが身」と考えれば自然に手も出るだろう。川西町役場も駅の東側へ移転するそうだから、たとえば役場職員や近所の会社員がテレワークで駅に詰めて仕事をしていて、列車が来るときだけお助けマンに変身するとか。

以上は絵空事かもしれないが、これまで日本の交通関係予算といえば、圧倒的に道路が中心だった。しかしヨーロッパでは自動車税などの一部を公共交通に投じるのがふつうで、オーストリアのある州では災害で不通になった私鉄ローカル線に約25億円を投じ、復旧以上に線路を改良、スピードアップや本数の増加を断行して利用率を大幅に向上させた。宮崎県の高千穂鉄道がそれとほぼ同額の復旧費用が捻出できずに廃止に追い込まれたのと対照的である。人口減少と高齢化が進むこの国でも、地域に適した公共交通のあるべき姿を今こそ考える時ではないだろうか。



Café nervoso e Café feliz.

神経質なコーヒーと喜びのコーヒー。

坂本 秀雄

5年間のブラジル滞在で、コーヒーの魅力を知ってしまったボク。適当に淹れて、普通の砂糖を入れて、それで美味しいんだから言うことなし。世界一のコーヒー生産国の、それが日常。

帰国してコーヒーを飲んで、かなりびっくり。味が薄い。しかも、普通に砂糖を入れると、コーヒーの味が薄くなって、温度も下がっちゃう。つまり、美味しくない。あれこれ試して、満足する味のインスタントに出会ったものの、しばらくして販売停止に。飲むコーヒーがないという危機に、ボクが選んだのはコーヒー屋さんの「美味しいコーヒーの淹れ方講座」。

講師の先生曰く、豆は体積でなく重さではかる。お湯は94℃。「の」の字に蒸らしの湯を

星を見て思う

竹田 聡美



“神経質なコーヒーから喜びのコーヒーへ”
ボクのコーヒー生活第二幕は、かなりいい感じなの。(高島町)

入れて30秒。フィルターは、……
講座の甲斐あって、いつも美味しいコーヒーが飲めるようになったボクの次なる目標は「飲んだらホロツと涙がこぼれるくらいに美味しいコーヒー」。全身全霊、総力結集、一所懸命でコーヒーを淹れる毎日。
が、あまりに真剣すぎたためエネルギーが切れ、コーヒーを見るのも嫌になり、1年半、コーヒーを淹れられない生活。

そんなある日、ふと見た雑誌に「フレンチプレスでコーヒーを淹れる」とあり、淹れてみたところ、簡単。で、美味しい。コーヒー豆のオイルの風味も魅力的。これなら気楽に続けられそう。

冬の夜、南の空に輝くオリオン座。見つけ出すことが出来るようになったのは、フレンドリープラザで、こまつ座公演『きらめく星座』

今尾 恵介 (いまお けいすけ)

地図研究者



1959年生まれ。横浜市出身。少年時代から時刻表と地形図を愛読する。奥羽本線はじめ全国の鉄道路線の駅名を暗誦するのも趣味だった。明治大学文学部ドイツ文学専攻中退後、音楽出版社勤務を経て1991年よりフリーライターとして地図・地名・鉄道の分野で執筆活動を開始。著書に『地図の遊び方』(ちくま文庫)、『地図入門』(講談社選書メチエ)、『ゆかいな珍名踏切』(朝日新書)、『日本200年地図』(監修・執筆一河出書房新社)、『地図帳の深読み』(帝国書院)、『地名崩壊』(角川新書)など多数。『日本鉄道旅行地図帳』(新潮社)のシリーズでは監修をつとめた。2017年に『地図マニア 空想の旅』で斎藤茂太賞(日本旅行作家協会)、2020年には日本地理学会賞(社会貢献部門)を受賞。現在(一財)日本地図センター客員研究員、日本地図学会「地図と地名」専門部会主査。現在『中央公論』、『神奈川新聞』、『土地家屋調査士』、『住民行政の窓』などに地図・地名に関連する記事を連載中。

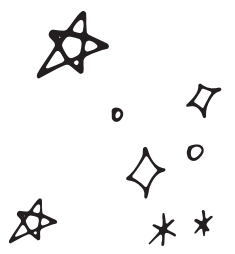
2020年9月12日にトークゲストとして「地図を歩く」と題し、川西町フレンドリープラザ 遅筆堂文庫にて講演する。

を観て星座のことを知ったからです。三つならんだ星、その周りを四つの星が囲んでいる狩人オリオン、見つけるとうれしくなります。
そして、記憶に新しい、白石加代子さんの『百物語』。味わったことのない新しい感覚はこの先ずっと忘れられないでしょう。始まりを告げる鐘の音が流れ百物語の幕が上がる。怖い話、不思議な話、長い話、短い話、四つのお話。どんな話か知らないで行ったので怖すぎて震えました。でも、面白かった。今から二十年ぐらい前になりますが、白石加代子さんと市村正親さんの二人芝居『ミザリー』を東京に行つて観ました。白石加代子さんの舞台は二度目です。今回も心をつかまれました。

フレンドリープラザには、落語会や演劇の公演に行きますが、最近では、菜の花座公演を観に行き、ソーシャルディスタンスの工夫をこらした舞台装置にびっくり、演劇の力強さを感じました。

劇場に行くのはなぜだろう、とふと思えます。それは、観たあとに自浄力が湧いてくるから、いろいろな出会いがあるから。

新しい発見を求めて、またフレンドリープラザに行きます。(米沢市)



これからの催し物案内

朗読劇あり、歌あり、トークありの盛りだくさん

井上ひさし思い出劇場

2021年2月6日(土)

【時間】14:00開演《13:00開場》

【料金】一般チケット 2,000円
PLA's会員 1,500円
高校生以下 1,000円

【会場】川西町フレンドリープラザ



二兎社「メディアをめぐる空気シリーズ」完結編

「ザ・空気 ver.3 そして彼は去った…」

2021年3月7日(日)

【時間】14:00開演《13:00開場》

【料金】一般チケット 5,000円
PLA's会員 4,500円
U24(24歳以下) 2,000円

【会場】川西町フレンドリープラザ



コロナウィルスと闘う医療従事者支援コンサート ※収益金は全額寄付されます。

「春待ちジャズライブ」

2021年3月14日(日)

【時間】14:00開演《13:30開場》

◎小山田和則クインテット up!up!
◎うたかた
◎スターダスターズ

【料金】500円

【会場】川西町フレンドリープラザ



「春待ち市」
3月13日(土)
14日(日)
春待ち市は、2日間開催
主催：川西町観光協会

置賜こども芸術祭 演劇部門

子ども演劇祭 2021

2021年3月21日(日)

【時間】14:00開演《入場無料》

コロナ禍の中、ひたむきに練習してきた成果をぜひご覧ください。

【会場】川西町フレンドリープラザ

※詳細につきましては、決まり次第お知らせいたします。



フレンドリークラシック vol.21

春に響きわたる金色の調べ

2021年3月27日(土)

【時間】16:00開演《15:30開場》

◎松川 儒《ピアノ》
◎加藤直明《トロンボーン》
◎小池裕美《サクソフォン》

【料金】一般チケット 3,500円
PLA's会員 3,000円
高校生以下 1,000円

【会場】川西町フレンドリープラザ (ロビー)



ふるさと山形 川西で井上ひさしを語り継ぐ

吉里吉里忌 2021

2021年4月10日(土).11日(日)

◎4/10 第34回 生活者大学校 ◎4/11 第7回 吉里吉里忌

【料金】各日 1,500円(18歳以下無料)

【会場】川西町フレンドリープラザ

※詳しくはホームページをご覧ください。



編集後記

井上ひさし没後10年企画に向けて打ち合わせのため、鎌倉の井上邸へ伺った2019年の夏がなつかしく思い出される。2020年の日記をみると、「スタンプリーパーコンプリートするぞ〜」という文字がでかでかと書かれている…。まさか世の中がこんな風になるなんて考えてもなかったあの頃。

そんな時期でもいろんな工夫をして熱心にスタンプリーパーを楽しんでくださったお客様がいることに、感謝の気持ち溢れてくる。なかなかいつも通りをしない時代になつてしまったけれど、これからもプラザの楽しい情報を前向きに発信していければと願っている。(仁科)

